

JICA 海外ボランティア事業の概要

「JICAボランティア」

独立行政法人国際協力機構(JICA:Japan International Cooperation Agency)が、国際協力事業として昭和40年から実施しているボランティア事業で、開発途上国で様々な活動を行う。

派遣実績:令和6年7月11日現在

種類(呼称)	年齢	概要	参加状況			
			全国		福井県	
			派遣中 (国数)	実績 (国数)	派遣中 (国数)	実績 (国数)
青年海外協力隊	20歳 ~45歳	自分の持っているより専門的な知識、技術や経験を生かし現地の人々とともに生活・協働しながら開発途上国の国づくりのために協力する。	1,261名 (69カ国)	47,733名 (93カ国)	4名 (4カ国)	313名 (69カ国)
海外協力隊	46歳 ~69歳					
シニア海外協力隊	20歳 ~69歳	自分の持っているより専門的な知識、技術や経験を生かし現地の人々とともに生活・協働しながら開発途上国の国づくりのために協力する。	100名 (35カ国)	6,703名 (79カ国)	3名 (3カ国)	23名 (15カ国)
日系社会 青年海外協力隊	20歳 ~45歳	中南米の日系社会で、自分の持っている技術や経験を生かし日系社会の人々とともに中南米地域の発展のために協力する。	63名 (5カ国)	1,624名 (9カ国)	2名 (1カ国)	14名 (2カ国)
日系社会 海外協力隊	46歳 ~69歳					
日系社会 シニア海外協力隊	20歳 ~69歳	中南米の日系社会で、自分の持っているより専門的な知識、技術や経験を生かし日系社会の人々とともに中南米地域の発展のために協力する。	7名 (3カ国)	555名 (10カ国)	0名 (0カ国)	1名 (1カ国)

※「シニア」とは自分の持つ専門的な技術・知識・経験に特化した案件を希望した人

「海外ボランティア支援事業」

JICAの海外協力隊に参加する福井県出身者等をとおして、派遣国住民のニーズに応えた県民総参加の国際協力を推進するとともに、国際交流・協力をを行う人材を育成する。

【事業内容】

- ・隊員からの要請に基づき、現地での活動に必要な協力物資等を県民から募集し、隊員へ送付する。
- ・隊員は、派遣国の住民へ協力物資を提供するとともに、福井県を広くPRする。
- ・活動の様子や物資の活用状況、現地住民等の声などをレポートで報告してもらい、県ホームページなどで紹介するとともに、隊員の帰国後は学校等で活動報告や各国の紹介などを行うことで、県民の国際協力の意識を高める。

・令和5年度までの実績

国数：28カ国

ボランティア数：43人

物資：文房具、絵の具、縄跳び、調理器具、衣類、百人一首、野球道具等

総量：306箱(4,002.6Kg)